

製品名: PPAR ガンマウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00391**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 58 kDa; Observed MW: 53,57 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPARG C1MT1; GLM1; NR1C3; Nuclear receptor subfamily 1 group C member 3; Peroxisome proliferator activated nuclear receptor gamma variant 1; Peroxisome proliferator activated receptor gamma 1; Peroxisome Proliferator Activated Receptor gamma; Peroxisome proliferator-activated receptor gamma; PPAR gamma; PPAR-gamma; PPARG; PPARG_HUMAN; PPARG1; PPARG2; PPARgamma.
別名	
遺伝子 ID	5468
SwissProt ID	P37231
免疫原	ヒト PPAR ガンマの合成ペプチド

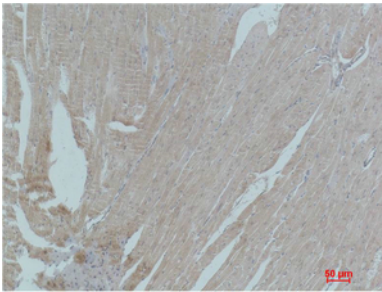
背景

脂質低下薬や脂肪酸などのペルオキシソーム増殖因子に結合する受容体。リガンドによって活性化されると、この受容体はアシル CoA 酸化酵素遺伝子のプロモーター領域に結合し、その転写を活性化する。これにより、脂肪酸のペルオキシソーム β 酸化経路を制御する。脂肪細胞の分化とグルコース恒常性の重要な調節因子である。

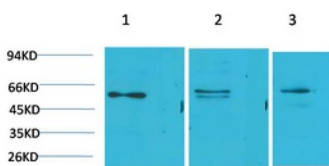
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



PPAR ガンマ抗体を使用したパラフィン包埋マウス心臓組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



PPAR ガンマ抗体を用いた HeLa、3T3、PC-12 ライセート中の PPAR ガンマのウェスタンブロット分析